

【管内の感染症の発生状況等について】

- 管内のインフルエンザの定点当たり報告数は減少傾向で推移していますが、第16週に2.29となりやや増加しています。引き続き手洗い・咳エチケットなどの予防対策を心掛けてください。
- 管内の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の定点当たり報告数は第16週に0.71となり、低い値で推移しています。（管内の定点当たり報告数は別表グラフを併せてご覧ください。）
- 管内の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第16週に9.25となり、県の定点あたりの報告数より高い値で推移しています。県内施設等における感染性胃腸炎の集団発生報告が続いているため、注意が必要です。

○ 主な感染症の定点当たり報告数（1医療機関当たりの平均報告数）

報告週	COVID-19		インフルエンザ		水痘		感染性胃腸炎		RSウイルス		伝染性紅斑	
	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県
13週 (3/23~3/29)	0.71	1.43	2.86	4.67	0.75	0.22	10.75	5.95	0.25	0.24	0.00	0.03
14週 (3/30~4/5)	0.57	0.85	1.29	1.81	0.00	0.11	2.75	4.19	0.00	0.24	0.00	0.03
15週 (4/6~4/12)	0.43	0.69	0.86	0.96	0.00	0.08	7.75	4.70	0.50	0.35	0.00	0.08
16週 (4/13~4/19)	0.71	0.88	2.29	0.60	0.75	0.16	9.25	5.97	0.00	0.05	0.00	0.03

○ 全数把握感染症の発生届（管内）

報告週	二類感染症	三類感染症	四類感染症	五類感染症
13週 (3/23~3/29)	-	-	-	-
14週 (3/30~4/5)	-	-	-	梅毒 2件 百日咳 1件
15週 (4/6~4/12)	-	-	-	-
16週 (4/13~4/19)	-	結核 2件	-	侵襲性肺炎球菌感染症 1件

★ 茨城県感染症流行情報週報（2026年第16週）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/weekly/documents/2026idwr16.pdf>

★ 茨城県感染症流行情報月報（2026年3月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/std/documents/2026mrp03.pdf>

★ 茨城県衛生研究所における病原体検出情報（2026年2月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/microbe/documents/202602kensyutu.pdf>

★ インフルエンザ流行情報（2025-2026シーズン）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/2025-2026.html>

★ 茨城県感染症発生動向調査事業年報（2024年）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/nennpou2024.html>

【感染性胃腸炎について】

- 管内でも社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生が散発しております。感染性胃腸炎とは、ウイルスなどが原因となって引き起こされる胃腸炎の総称であり、原因となるウイルスにはノロウイルス、サポウイルス、アデノウイルス、ロタウイルスなどがあります。手指や食品などを介して体内に入り、おう吐、下痢、発熱、腹痛などの症状を起こします。
- 主な原因となるウイルスにはアルコールによる消毒が効きにくいいため、予防には流水と石けんによる手洗いが重要です。また、ウイルスは感染者のふん便や吐物に含まれるため、処理の際には次亜塩素酸ナトリウムによる消毒を行うことが大切です。

～感染性胃腸炎の注意点～

- ① スリッパや上履き、カートや車いすなど移動手段の床面接触部分を介して感染が広がる可能性がある。
- ② 消毒箇所の素材によっては消毒が不十分になりやすいため、スチームなど高温（85℃以上1～2分）でウイルスを除去する方法も検討する。
- ③ おう吐物が塵埃となって飛散することで、空気を介して口に入り感染するため、換気を行う。

★ 感染性胃腸炎（特にノロウイルス）（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/norovirus.html

★ 茨城県の感染性胃腸炎による集団発生等の状況（2025年度）

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/ityouen/i_g_2025.html

【はしか（麻疹）に注意】

- 全国における2026年第13週時点の累積報告数は197例となり、直近5年間の同時期で最も多い報告数となりました（2026/4/7時点）。学校や施設等、多くの人が集まる場所での感染事例が報告されており、複数の自治体から注意喚起が行われています。
- 4月13日には、今年県内3例目のはしかの患者が報告されました。
- はしかは空気・飛沫・接触感染する、感染力が極めて強いウイルス感染症です。感染すると約10日後に発熱、咳、鼻水、目の充血などの風邪のような症状が現れます。発熱や発疹のある方と接触した1～2週間後や海外渡航後に、はしかが疑われる症状が出現した場合には注意が必要です。
- 医療機関におかれましては、発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、はしかの予防接種歴や海外渡航歴の確認等、はしかの発生を意識した診療を行っていただくとともに、はしかが疑われる患者を把握した場合には、院内での感染対策に配慮しつつ保健所へご相談いただきますようお願いいたします。

★ 麻疹（はしか）（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html

★ はしか（麻疹）に注意しましょう（茨城県）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/measles2.html>

【ゴールデンウィークにおける感染症対策について】

- ゴールデンウィークの長期連休に伴い、海外に渡航される方が多くなることが見込まれるとともに、国内においても人の移動や接触の機会が多くなることが予想されます。
- 手洗いや咳エチケット、体調が悪いときは外出を控えるなど、基本的な感染対策を心がけましょう。

★ ゴールデンウィークに海外へ旅行されるみなさまへ（茨城県）

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/notice/overseas_trip.html